



「人とくるまのテクノロジー展 2026」への出展概要



スズキブース イメージ図

スズキ株式会社は、5月から6月にかけて横浜・名古屋・オンライン※¹で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2026」（主催：公益社団法人自動車技術会）に出展します。

今回のスズキブースでは、2025年9月に発表した「10年先を見据えた技術戦略2025」の概要や、カーボンニュートラルへのチャレンジとしてCO₂回収装置を搭載した「スーパーキャリイ」、電動車いす開発の知見を活かした多目的電動台車「MITRA」、船外機エンジン生産におけるCO₂排出を低減する低温・耐熱アルマイト処理技術を実機展示やパネル、動画などでご紹介します。

<出品概要>

1. 「CARBON CAPTURE CARRY (CO₂回収装置付きスーパーキャリイ)」
 - ・農作業や移動時に車両から排出されるCO₂を回収する装置をスーパーキャリイに搭載し、回収したCO₂を農作物の成長促進に活用します。さらにカーボンニュートラル燃料(CNF)と組み合わせることで、カーボンネガティブの実現に挑戦しています。小型かつ高効率な回収技術により、走行しながら環境負荷低減と経済効果の両立を図ります。
2. 多目的電動台車「MITRA」
 - ・スズキが長年培ってきた電動車いす開発の知見を活かし、段差や不整地などの屋外環境でも安定した走行を実現する「ロボットの足」として開発されたモビリティです。各パートナー企業様のロボティクス技術と組み合わせることで、さまざまな現場への実装を可能にします。
3. 船外機のアルマイト処理技術「Suzuki Edge eCoat (スズキ・エッジ・イーコート)」を施したエンジンプロックと船外機(DF140B)
 - ・高い耐熱性・耐食性が必要な船外機エンジン部品へ耐熱アルマイト(陽極酸化処理技術)を実用化しました。塗装工程と比較しCO₂排出量を約68%削減しています。本アルマイト処理は、量産船外機として世界初※²の技術です。

人とくるまのテクノロジー展公式サイト：<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/>

※¹ 人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA：5月27日から29日までパシフィコ横浜で開催
人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE 1：5月19日から6月9日まで開催
人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA：6月17日から19日までAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催
人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE 2：6月10日から7月1日まで開催

※² スズキ調べ